

第39課 ショートメッセージ 「イエスの誕生」

聖書箇所：ルカ2：1－20

暗唱聖句：今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった

この方こそ主メシアである。（ルカ2：11）

今週の聖書箇所は、いわゆる「クリスマス物語」と呼ばれる、とても有名な箇所です。クリスチャンでなくても、教会に行ったことがなくても、知っている方が多いのではないのでしょうか？ 私は、この箇所を読むと、幼稚園のページの歌やセリフが頭の中を流れます。

皇帝アウグストゥスの命令で住民調査が行われます。その目的は徴税や徴兵です。当時の住民調査は、生まれた町に戻って登録することが義務付けられていました。ロバが徒歩で長い時間をかけて帰るしかなく、旅には危険が伴います。しかも、それが、税金を取られたり、自分の息子を兵隊に取られたりするための登録でしたので、住民調査のたびにあちこちで暴動が起こったそうです（使徒5:37）。

ヨセフとマリアは、ナザレから100km以上も離れたベツレヘムへ行かなければなりませんでした。ナザレとベツレヘムの間にはサマリア山地があり、ユダヤ人とサマリア人は仲が悪かったので、そこを通らず、迂回するのが常でした。そのため、実際はこの倍ほどの距離を旅しなければならなかったようです。

現代の快適な乗り物でも、身重の女性が旅をすることは薦められません。ましてや、ロバや徒歩での旅です。どれほど大変であったか、想像に難くありません。しかし、信仰深いヨセフとマリアは、そこに確かな神さまの守りがあることを信じ、全てを神さまに委ねて旅を続けたのではないかと想像します。

ベツレヘムにいるうちにマリアは出産します。住民登録のために帰省した多くの人でごった返していた町の宿はどこも満室で部屋がなく、イエスさまは馬小屋で生まれ、飼い葉桶に寝かされました。イエスさまは神さまのひとり子でありながら、私たち人間と同じ、いいえ、人間の中でも一番低いところに、へりくだって生まれて来てくださったのです。それは、私たちを救うためです。私たちは、誰かに神さまのことを伝える時、どのように伝えているのでしょうか？「教えてあげる」という上から目線で語っていないのでしょうか？

そして、このイエスさまの誕生を一番に知らされたのは、当時の社会で最も貧しく、身分の低かった羊飼いたちでした。神さまの救いは、この世で一番弱く、神さまの救いを最も必要としている人々のところに現れることを示す象徴的な出来事です。

天使からイエスさまのお誕生を告げられた羊飼いたちはどうしたのでしょうか？初めは恐れていた羊飼いたちですが、話し合っ、ベツレヘムに行くことにしました。急いで行って、イエスさまを探し当てたのです。羊飼いたちは、天使のお告げを信じて、すぐに行動に移しています。羊を放って行くわけにはいきません。羊を連れての移動は大変です。しかし、行くことができない理由を挙げ連ねるのではなく、とにかく行ってみようとして行動したのです。本当かどうかはわからない上、ベツレヘムのどこの馬小屋かもわからないのです。それでも、神さまの力に突き動かされるかのように出発したのです。

やらなければいけない、やった方がいいとわかっていながら、その一歩が踏み出せない時、私たちはできない理由を考えます。しかし、神さまからの語りかけにすぐに応答する、そのような素直な信仰を持ちたいと思います。

天使の知らせについて語る羊飼いの話を聞いて、マリアは心に納めて、思い巡らしていたと書かれています。聖霊によって身ごもったマリアは大変戸惑いますが、「お言葉通りこの身になりますように」と受け入れました。出産まで、様々なことを考えたでしょう。そして、この日、幼子の誕生を天使が羊飼いに告げたと聞いて、自分が生んだ赤ちゃんが神さまの子であることをさらに確信したのかもしれませんが。これからこの幼子の身に起こるであろうことに思いを馳せ、心配し、しかし、神さまを信じ、全てを神さまに委ねるためには、静かに考える時間が必要であったのかもしれませんが。

マリアとは対照的に、羊飼いは、天使から告げられたことが本当であったので、神をあがめ、賛美しながら帰っていきました。羊飼いたちが、「どうせ信じてもらえない」と、自分たちの見たことを黙っていたら、私たちはこのことを知ることもできなかつたでしょう。また、地位が高く、権力を持った人に告げていたら、彼らはイエスさまのお誕生の恵みを自分たちだけのものにしようとしたかもしれません。

私たちは、礼拝で、日常生活で、神さまと出会い、祝福を受けています。そのことに慣れて、鈍感になることなく、また、独り占めしようとすることなく、恵みを分かち合い、福音を告げ知らせるものになりたいと願います。

● 分かち合い

- ・ クリスマスのお話は、昔話ではありません。今も、イエスさまは、私たちが救うために生まれて来てくださっています。イエスさまのお誕生の知らせを聞いたら、どうしますか？すぐにイエスさまのところに駆けつけ、その嬉しい出来事を皆に知らせますか？
- ・ クリスマスの思い出について、分かち合いましょう。

(担当：Y.T.)